

2022年8月度 大館市経済動向調査

2022年10月14日
大館商工会議所・大館北秋商工会・大館市

1. 調査の目的 大館商工会議所・大館北秋商工会・大館市が、市内の経済動向を把握するため調査を行い、業種別や課題別等の分析結果を公表することで、経営判断に活用していただくことを目的に実施する。
2. 調査期間 2022年9月13日（火）～9月21日（水）
3. 調査対象 大館市内の商工会議所及び商工会の会員事業所：120件
4. 調査回答率 回答数/調査対象数：91.6%
5. 調査方法 調査票をFAX及び郵送により送付し、FAXによる回答返信

～売上げの下げ止まりがみられ、一部で販路開拓や設備投資に意欲～

<大館市の状況>

全業種で売上げの減少の回答が減り、全体としては売上げの下げ止まりが見られる。要因としては、コロナ禍以降初めての行動制限の無いお盆となり人流が増加したことなどが考えられる。併せて販路開拓や設備投資への意欲も見られ、今後更なる人流増加による売上げ増加への期待感が高まっていると思われる。

<製造業>販路開拓や設備投資、新商品・サービスの開発に意欲的な回答増加

前年同月比での売上げは依然として「減少」と回答した事業者が前回調査より件数としては半減したものの、少なくない。ただし「大幅に増加」と「やや増加」がわずかに増加しており、全体で見ると売上げの下げ止まり傾向が見られる。今後実施すべき取組みとしては販路開拓と設備投資がやや増加した。

新たな商品・サービスの開発に意欲的な回答が見られたほか、生産性向上や業務効率化に向けた設備投資など、人手不足対策としても効果のある設備投資が必要との見方が強まっていると思われる。

<建設業>売上げ下げ止まりがみられるものの、依然として人手不足

売上げが「横這い」との回答が増え、減少の回答はあるものの一部で下げ止まりが見られる。また、今後実施すべき取組みとして建設業全体の87.1%が「働き方改革（人材確保・人材育成を含む）」の回答結果となり、前回調査でも最多であったが、さらに増加した。

また、電子申請を利用している事業者が半数を超え64.5%となり、様々な場面での電子申請が普及したことに併せて利用率も向上してきたものと思われる。

<卸売・小売業>売上げ下げ止まりが見られ、既存の主力商品・サービスの売上げ拡大に注力

売上げが-20%以上減少したと回答する事業所が無くなり、「横這い」と「やや増加」の回答が増えた。卸売・小売業においては売上げが下げ止まりつつあると思われる。今後実施すべき取組みとして「販路開拓」の回答が増加した。特に主力商品・サービスの売上げ拡大に力を入れたいという事業者が多い。ただし、設備投資への意欲は全体として低く、新しいことより既存の事業の回復を優先しているものと思われる。

<観光・サービス業>人流増加により一部で回復も、依然として売上げ減少続く

売上げが「減少」の回答が22.2%を占めており、前回調査より減少したものの依然として多い。

ただし、コロナ禍以降初めてとなる行動制限の無いお盆であったことやイベントが3年ぶりに開催されたこともあり、「大幅に増加」と「やや増加」の回答もわずかに増加するなど一部では回復も見られた。